



正木小だより

令和6年5月31日

まさき

本気！協力して勝利をつかめ

本校の運動会を25日（土）に開催しましたところ、大変多くの保護者の方にご参観いただきまして、ありがとうございました。おかげさまで、練習から当日までさわやかな晴天に恵まれ、児童の明るい、元気な声が響き渡りました。

運動会前日には色別集会を開催しました。4つの団（赤団、白団、青団、黄団）の応援を披露しました。応援は、応援団員が中心となって、朝の時間を中心に練習を重ねてきました。拍手や替え歌など、団ごとに工夫を凝らして取り組みました。朝の時間を使った応援練習のあとである6年生が、「教えるのは難しい」と語ってくれました。こうした難しさや苦勞を乗り越えて、一つの応援を作り上げる喜びや達成感を味わったと思っています。特に、最高学年の6年生にとっては個人と学級ともに大きな財産になりました。

運動会当日は、低学年の部、中学年の部、高学年の部と1時間ずつに分かれて学年種目を行いました。取り組みの途中で6年生は、「運動会の練習はとっても疲れました。でも、大縄の取り組みで学級新記録が出たのでうれしかった」と語ってくれました。応援の取り組みと同じで、一生懸命取り組んで成果が出ることの喜びや達成感を味わうことができました。

6年生の全員リレーでは、何とか追いつこうと必死に走る姿、徒競走でも一生懸命に走る姿、縄跳びでは声をかけ合って記録に挑戦する姿、素晴らしい姿がたくさん見られました。

運動会をこの時期にこの形式で開催するのは、児童の熱中症対策が主な理由です。年々、気温が上昇し、地球温暖化が進んでいる気がします。だから、気候が安定し、さわやかなこの時期に運動会を開催しました。運動会の1週間前からテントをグラウンドに設営して、日陰をつくるほか、熱中症指数計で指数を測定しています。毎日の教育活動は、羽島市の熱中症対策ガイドラインに沿った対策をしています。

運動会のスローガンは「本気！協力して勝利をつかめ」です。これまでの取り組みと当日の姿から、このスローガンは達成できたと思っています。本気になって取り組み、仲間と協力する姿を今後の教育活動の中でも創り出したいと考えています。今後ともよろしくをお願いします。

校長 花村伸二

